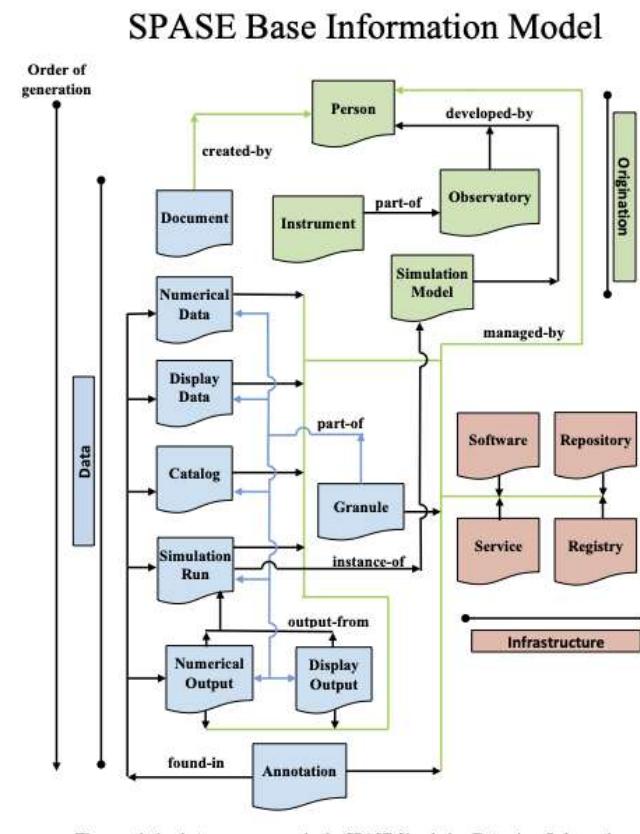


# **研究データの可視化・検索向上を目指 したメタデータ変換と機関リポジトリへの 登録について**

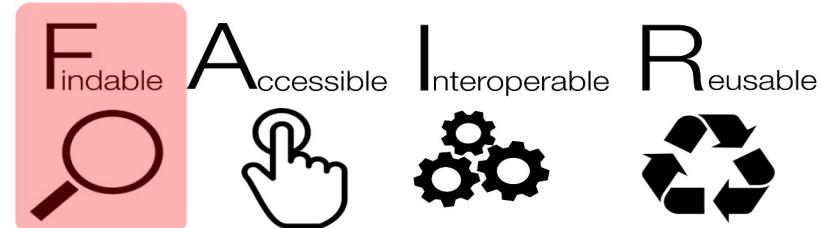
東海国立大学機構 名古屋大学附属図書館 金田

# 研究データに付与されるメタデータの特徴と課題



(例) 太陽地球系物理学分野で用いられている  
国際標準メタデータモデル

専門分野の研究者の利用を想定  
利用・作成にある程度前提知識が必要  
↓  
**他分野の研究者や一般の利用者は  
見つけにくい・利用しにくい状況**  
↓  
FAIR原則が掲げる“**Findable**”から  
程遠い状況



# よりFAIRにするために

- 専門分野のメタデータを汎用的なメタデータへ変換（項目対応表を作成）し、機関リポジトリに登録

## 専門分野のデータベース



## 機関リポジトリ



※国内の機関リポジトリで汎用的に使用されているスキーマ

# メタデータ項目対応表作成

- 以下の3者の協働により、専門分野のメタデータから
- JPCOARのメタデータへの項目対応表を作成
- ① 専門分野の研究者 … … … 専門分野のメタデータに関する知識
- ② 図書専門職員 … … … JPCOAR・機関リポジトリに関する知識
- ③ 情報科学エンジニア … … … メタデータ変換プログラム作成等
- (例)

JPCOAR						SPASE			
No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml: lang	記入 レベル	SPASE 2.4.0	注釈	説明	図書館コメント
1	タイトル	dc:title		TRUE	M 1-N	<*> +<ResourceHeader> ++<ResourceName>	データのタイトル  SPASEの場合はすべて英語。 国際的に流通しているので。 JPCOARのxmlを作成するときに、<***:lang="en">を入れることになる。	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	言語属性を追加する必要あり。 すべてenで良いか、要確認。

# 機関リポジトリ登録の意義・発展性

## ① メタデータのハーベストによる被検索可能性向上



機関リポジトリ

NII IRDB

データカタログ横断  
検索システム

Google Dataset  
Search

② DOI取得可能

③ 共通メタデータ項目に対応可能

④ 大学や機関の知の資産に

# これまでの取組例

- ① 宇宙地球科学分野 (2022～) 他機関へ展開

SPASEスキーマ → JPCOARスキーマ

Space Physics Archive Search and Extract : 宇宙地球科学分野のDB (IUGONET) で用いている国際標準のメタデータスキーマ

- ② JaLC (Japan Link Center) (2024～) 他分野へ展開

JaLC登録スキーマ (XSD) → JPCOARスキーマ

- ③ 構造生物学分野 (2025～) 他分野へ展開

PDBMLスキーマ → JPCOARスキーマ

Protein Data Bankで用いられている国際標準のメタデータスキーマ (PDBx/mmCIF) のXML形式

# 最後に

マッピングに関する情報や利用希望等がありましたら  
ぜひ下記までお寄せ下さい。

お問い合わせ先：名古屋大学附属図書館 情報管理課

電子リソースグループ（オープンサイエンス担当）

[lib-os@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:lib-os@t.mail.nagoya-u.ac.jp)